



(第5期)第14回まつもと子ども未来委員会の報告

令和元年12月20日

第5期の第14回まつもと子ども未来委員会を、令和元年12月15日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、31人の委員のうち、14人の委員、6人のサポーターが出席しました。

12月1日に開催した「子どもの権利の日」市民フォーラムで、「まつもと子ども未来委員会」の活動報告・市長提言を行いました。今回は、その振り返りと、活動2(これまで市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動する。)のまとめを行いました。

1 市長提言についての振り返りを、各班で話し合いを行い結果を発表しました。

☆うまくできたこと

- はっきりと喋ることができた。
- 聞いている人たちの方を見て、提言することができた。
- 手話通訳の人を意識して、ゆっくり話すことができた。
- ステージ上で移動がスムーズに出来て良かった。



☆うまくできなかったこと

- 発表の時、少し緊張して、話すスピードが速くなってしまった。
- 小さい声になってしまった。

☆提言に対する市のコメントを聞いて

- 活動の内容を褒めてもらえて嬉しかった。
- 誰もが使いやすい博物館が考えられていることが分かった。
- コメントの内容が具体的で良かった。



☆この活動を通じて、今後どう活かしていくか
他の課題についても考えていきたい
この未来委員会の活動を広めていきたい
活動する際、意見を出すだけでなく
まとめる役割をしたい
学校で、子どもの権利について伝えていきたい



2 活動2（これまで市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動する。）について

PR班は、松本市の魅力伝える、観光用ポスターに掲載する写真やデザインの確認と既存の観光用パンフレットについて、子どもの目線から見た考えをまとめました。

環境班は、一人一人の活動として、それぞれの学校で環境活動を広めて行くことを確認しました。



3 最後に、未来委員会が標語の作成に関わった、交通安全のかるたゲームを行い、盛り上がりました。



次回の委員会は、1月19日（日）にあがたの森文化会館で行います。